

7/23 3-34

# 現政権のための一玉葬か

安倍晋三元首相の国葬実施を閣議決定（22日）

した背景とは、安倍政治の弊害を引き継いだ岸田政権の行き詰まりが感じられます。

岸田文雄首相は14日の記者会見で、国葬を行う理由として、「安倍氏は、大企業の内部留保は膨らみ、内閣総理大臣の重責を担った」と強調し、内政でも外交でも安倍氏の「功績」を認めました。

噴出している

安倍政治弊害

しかし、岸田首相が絶賛した安倍政治の弊害がいま噴き出しています。

## 透ける政治的意図

価値に拘泥をかけています。安倍政権時に提起された敵基地攻撃能力の保有や軍事力の抜本的な強化の路線は、軍事費の国内総生産（GDP）比2%

%への増額につながり、平和と暮らしを押しつぶす危険な動きとなっています。森友・加計問題や

「遺志」継ぐと

保守層へ配慮

また、安倍氏が率いた党内最大派閥や保守派の議員からも国葬を求める声が多くあがり、改憲勢力からは、安倍氏の「遺志」を引き継ぎ『憲法改

めを公言していますが、そうした行き詰まりの中だからこそ、国葬には、安倍氏を支えたところの賛美・礼賛ムードをあげ、継承路線を「正当化」しようとしています。ひとては、国家として安倍政治を公認・美化すること、政権浮揚に利用しようという政治的な意図が透けて見えます。

岸田首相は安倍政治の継承を公言していますが、そうした行き詰まりの中だからこそ、国葬には、安倍氏を支えたところの賛美・礼賛ムードをあげ、継承路線を「正当化」しようとしています。ひとては、国家として安倍政治を公認・美化すること、政権浮揚に利用しようという政治的な意図が透けて見えます。

ひいては、国家として安倍政治を公認・美化すること、政権浮揚に利用しようという政治的な意図が透けて見えます。岸田首相は、国民の反対の声が強まるなかで、国葬実施を決定しました。これでは、安倍氏のためでも国民のためでもなく、現政権のための国葬だと言わざるを得ません。安倍政治の継承がもたらす弊害に加え、国葬強行への国民的批判で、岸田政権の行き詰まりがさらに強まっていきます。

（中略）

7/23  
五

各國體制反對聲明・談話(新報)

名田本は22日午後、「國税」とは支那の通商政策の大半の問題の解決に大きな役割の發揮する対策、大陸開拓を目的とする税金の慈惠化と課税税額減税による財政運営の実現と、これば「納稅者」として許されたところがたぐ、斷固抗議する」と表明。辯述は「國税」を分断する反し國民を決して離さず、「國税」決定を繰りかくるよう求めています。新日本婦人の会（新日本婦人）は、米山源一郎（

「安堵の談話で、元首相のれ賛、國民への那度の強制につながる」として国葬中止を求めていました。憲団と格闘を拡大させたアベノミクス、森友・加計・格を貢ぐがはじ國政私物化政治は、過去の問題ではなく、岸田内閣の権が基本的でない限りでくる」問題だと言明してきました。

「[S]を握る」  
進めてきたと述べ、「安倍元首相の負の過失への称賛を押し付けて、憲法改憲や田舎地主に政策利用しようと企むもの」と批判。女傭・曾政治を継承し、改憲を狙つた田政権の動きを打ち破るために奮闘する「説明」です。

文化団体連絡会議  
主張の精神のも  
て行われていま  
を願うとしてま  
るのでは「田中」そし  
将来にわたり、安全  
安心に暮らしていく  
うとするが公平な社  
であり、そのための  
策と題行で」と述べ  
、日本の政治が眞に  
主張の精神のも  
て行われていま  
を願うとしてま  
るのでは「田中」そし  
将来にわたり、安全  
安心に暮らしていく  
うとするが公平な社  
であり、そのための  
策と題行で」と述べ  
、日本の政治が眞に

國會令は日本國憲法の規定によつて、「國籍」とは被統治者を意味するもので、國籍もなしと擅用。憲法が定める表現の自由、良心の自由や、政教分離の原則に照らして、「國籍」の実施およびそれを廃止するの説明もなれば問題決定するところが、大いに問題があると思調してしまふ。

尚人議事) の声明 (21)  
曰は、國葬は安倍  
元首相が行つて来た田  
主生靈を離れて之の社  
動を正直なものとして  
評価するに至つたので  
拘捕。また黒川國政を  
あけて安倍元首相を廻  
博するのとを國が國政  
に押しつけられてしまひ  
り、憲法で保護された  
政治の自由を尊重する  
ものだとして、政府に  
黒川の下駄撤回を求め  
おした。

卷之三